



## NEWS RELEASE

報道資料

2007年8月16日

(日本時間)

### アプライド マテリアルズ、2007年度第3四半期の業績を発表

- ・新規受注高：22億8,000万ドル（前年同期比14%減、前期比14%減）
- ・純売上高：25億6,000万ドル（前年同期比1%増、前期比1%増）
- ・純利益：4億7,400万ドル（前年同期比8%減、前期比15%増）
- ・一株当たり利益：0.34ドル（前年同期比0.01ドル増、前期比0.05ドル増）

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社：米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は8月14日(現地時間)、2007年度第3四半期(期末：2007年7月29日)の業績を発表しました。2007年度第3四半期(以下当期)の純売上高は25億6,000万ドルで、2006年度第3四半期(以下前年同期)純売上高25億4,000万ドルをやや上回り、2007年度第2四半期(以下前期)純売上高25億3,000万ドルを上回りました。当期の売上総利益率は47.5%で、前年同期の48.1%を下回り、前期の44.9%より上昇しました。当期純利益は4億7,400万ドル(一株当たり0.34ドル)で、これに対し前年同期の純利益は5億1,200万ドル(一株当たり0.33ドル)、前期は4億1,100万ドル(一株当たり0.29ドル)でした。

2007年度第3四半期の非GAAPベースの純利益は5億1,800万ドル(一株当たり0.37ドル)で、これに対し前年同期の非GAAPベースの純利益は5億4,300万ドル(一株当たり0.35ドル)、前期の非GAAPベースの純利益は5億900万ドル(一株当たり0.36ドル)でした。非GAAPベースの調整については以下に説明を加えますが、添付の「GAAPと非GAAPデータの差異調整表」にも詳細を示しました。

アプライド マテリアルズの社長兼 CEO マイケル・スプリンターは次のように述べています。「アプライド マテリアルズは当四半期の売上高と利益の目標をクリアしました。半導体製造装置部門をシリコンシステムズグループに統合したことで組織の整理が進み、業績改善と利益向上を促すはずです」

「メモリー需要の高まりに伴い、半導体製造装置業界とアプライド マテリアルズの事業機会は拡大しました。ディスプレイ業界ではお客様が既存施設をフルに利用しようとする傾向が強く、依然厳しい状況が続いています。ソーラー市場の拡大を受けて、薄膜太陽電池

一貫生産ラインの今年の受注はさらに3件増えています」

当期の新規受注高は22億8,000万ドルで、前年同期の26億7,000万ドルより14%減少、前期の26億5,000万ドルより14%減少しました。当期新規受注高の地域別比率は、台湾31%、日本20%、韓国19%、北米12%、ヨーロッパ9%、東南アジアおよび中国9%となっています。当期末受注残高は34億3,000万ドルで、これに対し前期末は36億7,000万ドルでした。

当四半期の報告セグメント別の業績は以下のとおりです。

(単位:100万)	新規受注高	純売上高	営業利益 (損失)
シリコン .....	\$ 1,614	\$ 1,772	\$ 702
ファブソリューション .....	\$ 527	\$ 554	\$ 137
ディスプレイ .....	\$ 90	\$ 206	\$ 52
関連テクノロジー .....	\$ 53	\$ 29	\$ (29)

非 GAAP ベースの純利益ならびに非 GAAP ベースの EPS (一株当たり利益) は、添付した GAAP と非 GAAP データの差異調整表に詳細を示すとおり、以下に関連する費用を除外しています。(i) 株式ベースの報酬、(ii) 資産減損とリストラクチャリング活動、(iii) ビームラインイオン注入装置の開発中止、(iv) 買収に関連した一部の項目(無形資産の償却、売却した製品に関する棚卸資産公正価値の調整、進行中の研究開発費用を含む)、(v) 所得税監査の結果ならびに遡及的な税額控除の復活。当社の経営陣は、ビジネス目標と比較した営業成績や財務成績の評価ならびに計画立案に、非 GAAP ベースの純利益と非 GAAP ベースの EPS を用いています。これらの財務データは GAAP (一般会計原則) に沿ったものではなく、また他社の用いる非 GAAP ベースの会計報告手法とは異なる場合があります。こうしたデータは、投資家の皆様が経営陣と同じ視点で当社の事業を検討したり、過去の会計期と当期の業績を比較する上で役立つと当社は考えています。この追加情報の提示をもって GAAP に基づく純利益や EPS のデータを代替することは意図しておりません。

本プレスリリースには、当社の業績、成長機会、事業効率、ソーラー事業、テクノロジーリーダーシップ、ディスプレイ業界の状況その他に関する将来の見通しが述べられています。こうした将来見通しを記述した文章には、「期待する」「予想する」「確信する」「するかもしれない」「するはず」「する予定」「推定する」「予測する」「継続する」ないしこれに類した表現や、こうした記述の前提をなす仮定が含まれる場合があります。こうした記述は既知または未知のリスクや不確定要素に左右されるため、実際の結果はこうした記述が明示ないし暗示する帰結と実質的に異なる場合があります。そうしたリスクや不確定要素としては、①ナノ製造テクノロジー業界における需要の持続性と、ソーラー分野などの新

興アプリケーションへの需要の広がり（グローバルな経済状況、事業支出および個人消費支出、エレクトロニクス製品および半導体への需要、国際情勢不安などの影響を受ける）、②顧客企業の生産設備ニーズ（最新技術を採用した設備を含む）と工場稼働率、③ナノ製造テクノロジー製品への資本支出のタイミング、速度、規模、持続性、④当社の報告セグメント間で対象市場の状況の違いによって生じる業績のばらつき、⑤当社が(i)広範な製品を開発・提供およびサポートし、既存市場を拡大ならびに新市場を開拓する能力、(ii)効果的なコスト管理を維持し、コスト構造を事業環境にタイムリーに適合させる能力、(iii)サプライチェーンを含めたリソースや生産能力を効果的に管理する能力、(iv)主要社員を勧誘し、意欲を高め、引き留める能力、⑥ソーラー事業などの新事業における生産計画とその実施に伴う困難、⑦グローバルな事業と効率の強化に向けた活動の成功と効果、⑧買収事業や合併事業の業績、⑨当社が証券取引委員会(SEC)に提出する書類(Form 10-K、Form 10-Q、Form 8-K 報告書を含む)に記載されているリスク、その他があります。将来見通しの記述はすべて本プレスリリース発表時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライド マテリアルズは将来見通しの記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズは、Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーとして、半導体デバイス、フラットパネルディスプレイ、太陽電池などの製造装置ならびに、サービス、ソフトウェア製品を幅広く提供し、ナノマニュファクチャリングテクノロジーを人々のライフスタイル向上に役立てています。

詳しい情報はホームページ：[http://www.appliedmaterials.com/news/index\\_6.html](http://www.appliedmaterials.com/news/index_6.html)（日本語）でもご覧いただけます。

\*\*\*\*\*  
このリリースは 8 月 14 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 15 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社  
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー  
コーポレート マーケティング部 : 平澤 美香 (Tel: 03-6812-6807 / Fax: 03-6812-6833)  
ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>

---

APPLIED MATERIALS, INC.  
連結要約損益計算書

(単位千ドル、一株当たりの部分はドル)	3ヵ月期末		9ヵ月期末	
	2006年 7月30日	2007年 7月29日	2006年 7月30日	2007年 7月29日
純売上高	\$2,543,443	\$2,560,984	\$6,648,721	\$7,367,812
売上原価	<u>1,320,089</u>	<u>1,344,594</u>	<u>3,543,043</u>	<u>3,952,274</u>
売上総利益	1,223,354	1,216,390	3,105,678	3,415,538
営業費用：				
研究開発費及び技術費	304,326	292,584	853,086	871,195
販売費	123,810	115,969	322,289	334,988
一般管理費	117,083	134,359	333,889	375,561
リストラクチャリング、資産減損	<u>(2,646)</u>	<u>1,616</u>	<u>210,623</u>	<u>23,382</u>
営業利益	680,781	671,862	1,385,791	1,810,412
税引前の持分法投資損失	—	7,348	—	17,209
支払利息	8,848	10,075	26,788	29,388
受取利息	<u>50,578</u>	<u>32,468</u>	<u>147,899</u>	<u>96,593</u>
税引前利益	722,511	686,907	1,506,902	1,860,408
法人所得税	<u>210,471</u>	<u>213,392</u>	<u>439,268</u>	<u>571,973</u>
純利益	<u>\$ 512,040</u>	<u>\$ 473,515</u>	<u>\$1,067,634</u>	<u>\$1,288,435</u>
一株当たり利益：				
基本	\$ 0.33	\$ 0.34	\$ 0.68	\$ 0.92
希薄化後	\$ 0.33	\$ 0.34	\$ 0.67	\$ 0.91
期中平均株式数：				
基本	1,550,744	1,385,519	1,571,534	1,397,890
希薄化後	1,562,615	1,407,264	1,586,878	1,415,720

APPLIED MATERIALS, INC.  
連結要約貸借対照表

(単位: 千ドル)	2006年 10月29日	2007年 7月29日
<b>資産の部</b>		
流動資産:		
現金及び現金同等物	\$ 861,463	\$ 1,112,675
短期投資	1,035,875	1,295,261
売掛金	2,026,199	2,240,290
棚卸資産	1,406,777	1,361,875
未収還付法人所得税	455,473	481,019
売却予定資産	37,211	17,370
その他流動資産	<u>258,021</u>	<u>302,945</u>
流動資産合計	6,081,019	6,811,435
長期投資	1,314,861	1,349,211
有形固定資産	2,753,883	2,782,510
減価償却費累計	<u>(1,729,589)</u>	<u>(1,736,039)</u>
有形固定資産純額	1,024,294	1,046,471
営業権	572,558	652,900
買収技術及びその他無形資産	201,066	221,977
持分法投資	144,431	127,223
繰延税金資産及びその他資産	<u>142,608</u>	<u>156,166</u>
資産合計	<u>\$ 9,480,837</u>	<u>\$10,365,383</u>
<b>負債及び資本の部</b>		
流動負債:		
一年以内返済長期債務	\$ 202,535	\$ 202,528
買掛金及び未払費用	2,023,651	2,203,223
未払法人所得税	<u>209,859</u>	<u>143,012</u>
流動負債合計	2,436,045	2,548,763
長期債務	204,708	204,354
その他負債	<u>188,684</u>	<u>224,129</u>
負債合計	<u>2,829,437</u>	<u>2,977,246</u>
株主持分:		
普通株式	13,917	13,781
資本準備金	3,678,202	4,212,748
利益剰余金	9,472,303	10,525,120
自己株式	(6,494,012)	(7,375,271)
その他の包括利益 (損失) 累計額	<u>(19,010)</u>	<u>11,759</u>
株主持分合計	<u>6,651,400</u>	<u>7,388,137</u>
負債及び資本合計	<u>\$ 9,480,837</u>	<u>\$10,365,383</u>

APPLIED MATERIALS, INC.  
GAAP と非 GAAP データの差異調整表

	3 ヶ月期末			9 ヶ月期末	
	2006 年 7 月 30 日	2007 年 4 月 29 日	2007 年 7 月 29 日	2006 年 7 月 30 日	2007 年 7 月 29 日
<i>(単位千ドル、一株当たりの部分はドル)</i>					
<b>非 GAAP ベースの純利益</b>					
報告上の純利益 (GAAP ベース)	\$ 512,040	\$ 411,444	\$ 473,515	\$ 1,067,634	\$ 1,288,435
株式ベース報酬の費用	53,684	47,922	47,485	160,716	130,307
リストラクチャリングと資産減損 <sup>1,2</sup>	(2,646)	25,044	1,616	210,623	23,382
ビームラインイオン注入装置の 開発終了関連費用 <sup>3</sup>	–	50,299	6,373	–	56,672
買収に関連した一部項目の影響 <sup>4</sup>	19,502	23,725	18,911	30,701	56,016
過去の申告所得税及び税控除の 監査結果 <sup>5</sup>	(33,915)	–	(6,379)	(33,915)	(36,242)
非 GAAP 調整の税効果	(5,869)	(49,239)	(23,137)	(120,444)	(85,810)
非 GAAP ベースの純利益	\$ 542,796	\$ 509,195	\$ 518,384	\$ 1,315,315	\$ 1,432,760
<b>非 GAAP ベースの純利益 (希薄化後一株当たり)</b>					
報告上の希薄化後一株当たり利益 (GAAP ベース)	\$ 0.33	\$ 0.29	\$ 0.34	\$ 0.67	\$ 0.91
株式ベース報酬の費用	0.03	0.02	0.02	0.08	0.07
リストラクチャリングと資産減損	–	0.01	–	0.08	0.01
ビームラインイオン注入装置の 開発終了関連費用	–	0.02	–	–	0.03
買収に関連した一部項目の影響	0.01	0.01	0.01	0.02	0.03
過去の申告所得税及び税控除の 監査結果	(0.02)	–	–	(0.02)	(0.03)
非 GAAP ベースの純利益 (希薄化後一株当たり)	\$ 0.35	\$ 0.36	\$ 0.37	\$ 0.83	\$ 1.01
一株当たり利益の算出に用いた 希薄化後株式数	1,562,615	1,407,255	1,407,264	1,586,878	1,415,720

<sup>1</sup> 2006 年 7 月 30 日に終了した 3 カ月間の業績には、資産減損およびリストラクチャリング費用 2 億 1,100 万ドルが含まれています。これは主として 2006 年度第 1 四半期に始まった設備引き揚げプログラムに関連するものです。2007 年 7 月 29 日に終了した 9 カ月間の業績には、韓国・天安とオレゴン州ヒルズボロの施設売却に伴う若干の利益が含まれています。

<sup>2</sup> 2007 年 7 月 29 日に終了した 3 カ月間および 9 カ月間の業績には、それぞれビームラインイオン注入装置の開発終了に関連したリストラクチャリング費用と資産減損費用が 200 万ドルおよび 2,700 万ドル含まれています。

<sup>3</sup> 2007 年 7 月 29 日に終了した 3 カ月間および 9 カ月間の業績には、それぞれビームラインイオン注入装置の開発終了に関連したその他の営業費用が 600 万ドルおよび 700 万ドル含まれています。

<sup>4</sup> 買収に起因する増分費用の影響。これは売却した製品に関する棚卸資産公正価値の調整額と、購入した無形資産の償却からなっています。2007 年 7 月 29 日に終了した 9 カ月間の業績には、2007 年度第 2 四半期に行ったブルックス オートメーション社のソフトウェア部門の買収に関連する進行中の研究開発費用 500 万ドルが含まれています。2006 年 7 月 30 日に終了した 3 カ月間および 9 カ月間の業績には、2006 年度第 3 四半期に行ったアプライド フィルムズ コーポレーションの買収に関連する進行中の研究開発費用 1,400 万ドルが含まれています。

<sup>5</sup> 2007 年 7 月 29 日に終了した 9 カ月間の業績には、過去の所得税申告の監査結果に基づく 3,600 万ドルの税還付が含まれていません。2006 年 7 月 30 日に終了した 9 カ月間の業績には、2005 年の所得税申告の結果得られた 3,400 万ドルの税還付が含まれていません。